

愛読される 広報紙をを目指す



委員長
畔 蒜 清 正

広報委員長あいさつ

創意と工夫を傾注

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

ご家族お揃いで輝かしき新春をお迎えのことと存じます。

日頃は、「広報ひかり」をご愛読いただいていることと存じ、感謝申しあげる次第であります。

昨年の秋は、度重なる台風と秋雨前線による長雨のため床下浸水をはじめ、崖崩れによる住居の被害、また、水稲の収穫作業にも支障が生じました。秋冬野菜の主軸であるネギは、甚大な被害を受け、少しでも早い回復を祈るものであります。

さて、昨年の「広報ひかり」をひもといってみますと、4月号の「21世紀を展望した予算を編成」の中で、特に、一般会計の予算を、円グラフによってわかり易く説明しております。歳入で大きなウエート

を占めるのは、地方交付税であり、国や県からの支出金に合わせて、町税の2倍以上になっております。このように交付金等に大きく依存している事は、財政基盤が乏しいからであります。

町の主産業は依然として農業であるが、米を始め農畜産物は盤石を無くして久しく、貿易摩擦等により、自由化の波が押し寄せている今日、後継者不足や若者の町外流出を招いていることが現況であります。この実態に終止符を打ち、町内で安定した職場を提供し活性化を図り、第1期ひかり工業団地が完成致し、それに伴い誘致第1号となった「テイヒュー株式会社」が本操業に入りました。

また、地域の医療機関として待望され、新装した東陽病院も10科目、100床で6月にオ

ープン致しました。施設と共
に内容の充実は、言を待たない所であります。
「広報ひかり」も本年は、
広報通信員はもとより、広報委員一丸となって、町民の皆様に愛読されるよう創意と工夫
を傾注する決意であります。
皆様の尚一層のご指導、
ご協力をお願い申しあげ、
平成4年が佳き年でありま
すようご祈念致しまして、
ごあいさつと致します。

平成2年の県広報コンクール広報紙部門
(町村の部I)で奨励賞を受賞する。

